

令和2年度第1回経営協議会報

総務部総務課

日 時 令和2年6月25日(木) 13:30～16:23 (オンライン会議)

審議事項

(1) 第3期中期目標期間4年目終了時評価の実績報告書(達成状況報告書・業務実績報告書)について

木暮理事及び越野副理事から、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構へ提出予定の「中期目標の達成状況報告書(案)」及び国立大学法人評価委員会(文部科学省)へ提出予定の「平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間(平成28年度～31事業年度)に係る業務の実績に関する報告書(案)」について、資料に基づき提案説明があり、審議の結果、各報告書の方向性が了承され、提出までの間にさらなる文言等の精査及び修正を学長一任で行うこととした。

学外委員から、業務の実績に関する報告書において、各中期計画の評定が「IV. 計画を上回って実施している」となっている項目の数が例年と比べどのように推移しているのかとの確認があり、後日、追って報告することとした。

(2) 令和3年度概算要求事項(案)について

福治理事から、令和3年度概算要求事項(案)について、主に、「ビジョンに基づく4つの戦略を着実に推進する取組」及び「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の観点から資料に基づき提案説明があり、審議の結果、方向性が了承され、詳細は学長一任とすることで了承された。

学外委員から、新型コロナウイルス感染症の影響による大学病院の赤字補填や「ビジョンに基づく4つの戦略を着実に推進する取組」のうち目標の達成が困難となる留学や国際化推進に関する評価指標の修正等が可能か関係機関へ要望・交渉を行うことの提案があった。

報告事項

(1) 上原キャンパスの移転について

大屋理事から、移転先用地の取得状況及び医学部関係施設の配置計画変更について、資料に基づき報告があった。

学外委員から、科学技術基本法が改正され大学と民間企業が合同で共同研究企業体を設置することが比較的容易になったことから、共同研究企業体が移転先の周辺で拠点(建物)を作るものの可能性について確認があり、本学先端医学研究センターのレンタルラボの活用に加え、今回の配置計画変更に伴って発生した空きスペースに建築することも可能性として考えられる旨の説明があった。また、今後、返還が予定されている駐留軍用地において、宜野湾市(移転先)と沖縄県が将来的に生命科学研究施設や企業等の誘致を構想していることについて説明があった。

(2) 令和元年度卒業生の進路状況について

井上理事から、令和2年3月に卒業・修了した学部学生及び大学院生の進路状況について、資料に基づき報告があった。

学外委員から、新型コロナウイルス感染症の影響などの情報について確認があり、影響の詳細までは分析できてないが、現状として、県外への移動が可能となり活発化する見通しであること、県内では求人をストックしている企業が多かったが、再開しつつあることの説明があった。

(3) 新型コロナウイルス感染症に係る本学の対応について

学長及び各担当理事から、今年1月からの本学の対応、学生支援、病院の対応、教職員支援について、資料に基づき報告があった。

学外委員から、遠隔でも効果が上がるような授業方法の開発と対面を組み合わせたハイブリッド型の実践等について提案があった。